

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
保育内容・音楽表現Ⅱ	演習	1	朝野 典子
<b>【授業のテーマ及び到達目標】</b> 「幼稚園教育要領」の領域「表現」の内容とねらいを理解し、幼児教育・保育現場で実践できる音楽知識・技術・技能を習得し、レポーターを広げる。			
① 子どもの年齢(身体的成長・心理的発達)に応じた音楽表現活動の指導法を考えることができる。 ② いろいろな種類の音楽表現を知り、理解を深める。 ③ 教材のポイントをつかんで、年齢別の指導案が書ける。 ④ 指導案を基に模擬授業を行い、振り返りができる。			
<b>【授業の概要】</b> 「幼稚園教育要領」の領域「表現」の内容とねらいを理解する。様々な音楽表現活動について学ぶ。子どもの年齢・発達に応じた指導を考えて実践できるように必要な力を身につける。			
<b>【全体の授業計画・内容】</b>			
1. ガイダンス、授業方針の説明等			
2. 「幼稚園教育要領」の領域「表現」の内容とねらい			
3. 様々な音楽表現 1(表現について)			
4. 様々な音楽表現 2(リトミック)			
5. 様々な音楽表現 3(ミュージックムーブメント)			
6. アンサンブル 1(打楽器)			
7. アンサンブル 2(ミュージックベル、トーンチャイム)			
8. 子どもの発達と音楽表現			
9. 年齢に応じた身体活動			
10. 年齢に応じた歌唱			
11. 年齢に応じた楽器演奏			
12. 指導案の作成			
13. 模擬授業(グループ 1 の発表と振り返り)			
14. 模擬授業(グループ 2 の発表と振り返り)			
15. まとめ			
<b>【準備学習の内容】</b>			
予習のあり方:課題曲を事前に練習しておく。			
学習のあり方:意欲的、積極的に取り組む。			
復習のあり方:習得した技術・技能を向上させるために復習する。			
<b>【成績評価】</b> 学習意欲及び授業内での習熟度(60%)、授業内試験(40%)			
<b>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</b> レポートにコメントを記入し返却する。			
<b>【テキスト】</b> 渡辺厚美・岡崎裕美(著)『コンパクト版保育内容シリーズ音楽表現』一藝社			
<b>【参考文献】</b> 『幼稚園教育要領』、『幼保連携型認定子ども園教育・保育要領』、その他授業内に実技進度に応じて紹介。			